

平成22年度 中期 学校生活についてのアンケート結果(全学生対象)

質問	回答
1. 私は、意欲的に座学(学科)に取り組んでいる。	3.71
2. 私は、意欲的に実習に取り組んでいる。	3.98
3. 私は、検定試験や各種資格取得に積極的に取り組んでいる。	3.84
4. 私は、学校行事(入学式、卒業式、校内スポーツ大会、技能コンクールなど)に積極的に取り組んだ。	3.86
5. 私は、清掃ボランティア等の奉仕活動に積極的に取り組んだ。	3.96
6. 私は、いつも心身の健康管理に気をつけている。	3.89
7. 私は、ルールに従ってゴミの分別処理を行っている。	4.25
8. 私は、遅刻や欠席などしないように心がけている。	4.11
9. 私は、服装(制服)や髪型など、FANの学生として身だしなみを整えている。	3.9
10. 私は、FANの学生としての誇りを持ち、校内・校外ともに自覚ある行動をとっている。	3.92

回答 : 5択にて行う。

5	よく出来た (90%以上)
4	だいたい良く出来た (80%程度)
3	普通 (60%程度)
2	あまり出来なかった (50%程度)
1	できていなかった (40%以下)

平成22年度 中期 学科授業についてのアンケート結果(全学生対象)

質問	回答
1. 授業開始時間・終了時間が正しく守られ、きちんと号令がされていますか。	4.67
2. 先生の声の大きさは適当ですか。	4.64
3. 板書はわかりやすくまとめられ、ノートへの記入時間が適切にとられているか。	4.26
4. 学生自身に考える工夫がありますか。	4.35
5. 授業内容の中で、大切な点(ポイント)をまとめてあり、授業の終わりに『まとめ』や次回授業の予告までしていますか。	4.37
6. 授業は楽しく、理解しやすい工夫がありますか。	4.38
7. 授業の中で先生の熱意が感じられますか。	4.35
8. 質問に対して適切な回答がされていますか。	4.34
9. 行儀の悪い学生に対して、注意されていますか。(眠ったり、挨拶をしない等)	4.31
10. 皆さんに対して公平に接しておられますか。	4.40

平成22年度 中期 実習授業についてのアンケート結果(全学生対象)

質問	回答
1. 授業開始時間・終了時間が正しく守られ、きちんと号令がされていますか。	4.64
2. 先生の声の大きさは適当ですか。	4.62
3. 授業中、常に安全な作業を行うように、気を配られ指示がなされていますか。	4.51
4. 学生の個々が技術を身につけれるよう工夫されていますか。	4.49
5. 授業内容の中で、大切な点(ポイント)をおさえたり、授業の終わりにまとめがあり、実習作業時間が適切であるか。	4.44
6. 教具・道具の使い方はきちんと理解できるように説明されており、その個数は、実習作業で足りているか。	4.45
7. 授業の中で先生の熱意が感じられますか。	4.45
8. 質問に対して適切な回答がされていますか。	4.44
9. 行儀の悪い学生に対して、注意されていますか。(眠ったり、挨拶をしない等)	4.39
10. 皆さんに対して公平に接しておられますか。	4.50

* 授業点検 項目別推移比較表

* 学科

質問 項目	H20 中期 平均	H20 後期 平均	H21 前期 平均	H21 中期 平均	H21 後期 平均	H22 前期 平均	H22 中期 平均
1	4.50	4.43	4.33	4.43	4.49	4.55	4.67
2	4.51	4.54	4.41	4.49	4.60	4.51	4.64
3	3.95	4.23	3.84	4.00	4.06	4.03	4.26
4	4.21	4.36	3.89	3.93	4.16	4.22	4.35
5	4.26	4.42	3.98	4.02	4.10	4.24	4.37
6	4.08	4.27	3.91	3.90	4.06	4.19	4.38
7	4.21	4.39	4.03	4.06	4.27	4.25	4.35
8	4.15	4.26	3.94	4.07	4.12	4.29	4.34
9	3.91	4.19	3.88	3.92	3.94	4.21	4.31
10	4.27	4.28	3.84	4.04	4.08	4.08	4.40

4.20 4.34 4.00 4.09 4.19 4.26 4.41

* 実習

質問 項目	H20 中期 平均	H20 後期 平均	H21 前期 平均	H21 中期 平均	H21 後期 平均	H22 前期 平均	H22 中期 平均
1	4.42	4.35	4.28	4.38	4.38	4.47	4.64
2	4.18	4.41	4.25	4.36	4.44	4.53	4.62
3			4.20	4.17	4.35	4.42	4.51
4	4.07	4.16	4.06	4.10	4.31	4.32	4.49
5	4.06	4.16	4.04	4.10	4.31	4.36	4.44
6	4.18	4.27	4.13	4.15	4.23	4.34	4.45
7	4.15	4.26	4.13	4.17	4.30	4.36	4.45
8	4.10	4.20	4.06	4.14	4.28	4.41	4.44
9	4.08	4.20	4.01	4.01	4.14	4.34	4.39
10	4.14	4.21	4.12	4.12	4.25	4.20	4.50

4.15 4.25 4.13 4.17 4.30 4.38 4.49

自己点検・自己評価報告書

実施日 平成 22 年 11 月

島根自動車工学専門大学校

目 次

基準1	教育理念・目的・育成人材像	1
1-1	理念・目的・人材育成像は定められているか	
1-2	学習の特色は何か	
1-3	学校の将来構想を抱いているか	
基準2	学校運営	3
2-4	運営方針は定められているか	
2-5	事業計画は定められているか	
2-6	運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか	
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	
2-8	意思決定システムは確立されているか	
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
基準3	教育活動	5
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	
3-14	授業評価の実施・評価体系はあるか	
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	
3-17	資格取得の指導体制があるか	
基準4	教育成果	9
4-18	就職率（卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	
4-19	資格取得率の向上が図られているか	
4-20	退学率の低減が図られているか	
4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
基準5	学生支援	11
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	

- 5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか
- 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか
- 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか
- 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-28 保護者と適切に連携しているか
- 5-29 卒業生への支援体制はあるか

基準6 教育環境 14

- 6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-32 防災に対する体制は整備されているか

基準7 学生の募集と受け入れ 15

- 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
- 7-36 学納金は妥当なものとなっているか

基準8 財務 17

- 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか
- 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

基準9 法令等の遵守 18

- 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

基準10 社会貢献 20

- 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
- 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は平成 18 年 4 月に開校。当地域では、国家資格である 1 級自動車整備士、2 級自動車整備士を養成できる唯一の専門学校である。</p> <p>本校は建学の精神を礎に、教育の目的や育成人材像を明確にしている。更に、学習内容によって詳細な目標をたてているため、授業内容や学生指導内容に関して、教員間での共通意識を持ってている。</p>	<p>建学の精神</p> <p>自動車工学の分野において、最新の学術を習得し、自立性と公共性が協和した社会に対応できる人材を形成するとともに、確かな時代を創り上げる優秀な人材を育成する。</p> <p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え学び続ける力を養う ・資格取得に必要な知識の習得 ・即戦力となる総合的な知識 ・自主、自立の精神を養う ・社会人としてのマナーの習得 <p>（自動車学科） 自動車に関する幅広い基礎知識を養い、さらに専門的知識を習得し、高度な技術力、応用力のある自動車整備士を育成する。</p> <p>（自動車実習） サービスエンジニアとしての心得を体得し、整備技術の基礎から新技術まで幅広い実践的技術を習得し、即戦力となる人材を育成する。</p> <p>（一般教養） 基礎学力の向上及び社会人として必要なマナー、ビジネス能力を習得し、協調性があり表現力豊かな人材を育成する。</p> <p>（就職指導） 地域社会に貢献する人材の育成。</p> <p>上記内容は、毎週、教職員全員で唱和している。</p>

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	明確に定めている。	学則に謳うとともに、明確に定められた理念・目的・育成人材像は、入学時に配布する学校ガイドブックに記載し全学生・保護者に示している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	持っている。	各教科のカリキュラムや就職指導などが、理念・目的・育成人材像に沿ったものとなるよう職員会議で計画をたて協議決定するなどし、工夫・実現を図っている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	毎年、見直しを行っている。	時代変化に応じたものとなるよう職員会議で協議決定している。	課題は特に無いが、次代の変動に即応できるよう常に状況を見据えながら見直しを行っている。
理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	教職員・学生・保護者に公表しているが、学外に対して積極的に公表はしていない。	教職員・在学生・保護者に対し、これらを明記した冊子を配布している。	これからも教職員・学生・保護者に周知していく。 また、本自己点検の公表により、理念・目的・育成人材像を広く公表していく。

1-2 学校の特徴はなにか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学校の特徴として挙げられるものがあるか	充実した最新設備機器と、レベルの高い教育内容。	最新の施設整備、機器を揃えるとともに、学生人数に対して十分な教材数を揃えている。 メーカーにとらわれない幅広い車種を実習に使用している。1級の取得できる専門学校であるため、自動車教員の半数以上が1級の国家資格取得者であるなど自動車整備士の指導者としての資質が高い。	教材については、これまで通り必要に応じて随時補充していく。 教員のうち1級未取得者については、資格取得に向けて勉強中である。既に取得者しているについては、さらなる知識・技術の習得のため本校の教育内容に即した高度資格を取得すべく各自研鑽中である。

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	自動車分野への就学・就職は、世界（日本）の景気動向に左右されやすいため、中期的な将来構想をたてにくい点もあるが、将来的な構想は抱いている。	構想なくしては学校運営および教育は成り立たないため、常に将来構想はたてている。	次代ニーズに即した学校となるよう今後も構想をたてていく。

基準 2 学校運営

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	定められている。	各年度初めに年間行事計画書を作成し、職員会議で協議決定している。 定期試験や各種検定試験、講習など在学生全員の取得を目標に、また、就職に関しても卒業生全員就職を目標にして運営方針を定めている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	各教職員に伝わっている。	校務分掌、教員としてのマニュアルなど必要な書類を全教職員に配布している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	整備されている。	就業に関する諸規定集を作成し、全教職員に配布している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	定められている。	各年度初めに年間行事計画書を作成し、職員会議で協議決定している。 定期試験や各種検定試験、講習など在学生全員の取得を目標にあげて実行している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学校は事業計画に沿って運営されているか	運営されている。	事業計画に沿って運営を実施することはもちろん、事業が実施されるたび職員会議で内容の再検討をするなどし、よりより事業運営ができるよう図っている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

2-6 運営組織や意思決定機関は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
運営組織図はあるか	ある。	組織図により、各担当部署の業務が円滑に行われている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	なっている。	不具合があった場合、または現状のままでは不具合が生じると予測される場合、事態に応じて組織の見直しを図っている。また、学生に関することで教職員全体での決定が必要な場合は、臨時職員会議などを開き協議・決定している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	明確になっている	校務分掌、組織図を作成し、各部署または職員会議で協議・決定している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	行われている。	資格や経験など学校運営の条件に合う人材を確保できている。 教職員は、自らの資質を向上させるため上級資格取得に向け研鑽している。 また、能力向上のための教員研修も年間スケジュールをたてて実施している。	課題は特に無いが、学校運営に必要だと思われる人材育成は重要であるため、今後も努力を続けていく。
人事考課制度は整備されているか	整備されている。	毎年、4月、10月、年度末に全教職員の面談を実施し人事考課を行っている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
昇進・昇格制度は整備されているか	整備されている。	毎年、4月、10月、年度末に全教職員の面談を実施し該当者は昇進・昇格としている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
賃金制度は整備されているか	整備されている。	勤務規程や給与規程など全教職員に学園の規程を配布し、その規程に沿って実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
採用制度は整備されているか	整備されている。	採用・不採用の基準は、求人票に沿って実施。雇用時の学校への提出書類や解雇についての定めも規則規程で明記されている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	把握している。	県・国に提出する学校基本調査の書類内にも教職員情報明記の文書があり、明確に把握している。国土交通省の定める学生人数により教員数を確保、配置。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
意思決定システムは確立されているか	確立されている。	意思決定が必要な際には、伺い書、稟議書、報告書などを利用するなどしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
意思決定プロセスのポイントとなる仕組み（会議など）が制度化されているか	制度化されている。	毎月、職員会議を実施。議題ごとに参加者全員が意見を述べられるよう司会者（教職員が持ち回りで担当）が運営している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	行われている。	組織体制を明確にして人材を配している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
業務効率化を図る情報システム化がなされているか	情報システム構築がなされている。	教職員が共通使用できる専用サーバの開設により、より早く情報を共有でき効率的である。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

基準3 教育活動

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	正しく方向付けられている。	業界の時代ニーズを適確に把握しながら、職員会議で協議・決定している。決定し次第、その目標や人材像育成に向けて授業・生活指導を行っている。	課題は特に無いが、これからも次代ニーズを適確にとらえ、さらによりよい状態となるよう努力を続けていく。

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	明確に定められている。	教育目標のひとつである資格取得など、業界の人材ニーズレベルに照らしあわせ内容設定している。また、期間内に目標に達するよう、教育時間が適切であるかどうかを毎年見直し、職員会議で協議決定している。学生、保護者にもカリキュラム時間を記した書類を配布している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	目標達成に向け充分協議された内容であり、体系的に編成されている。	目標達成レベルに対して教育時間および学習指導内容が適切であるかどうかは常に教務で話し合われている。また、これらについては毎年見直し、職員会議で協議決定している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	直接カリキュラムに対して外部者の意見を反映させてはいないが、業界で求められる知識や人材教育内容などは、情報が入る都度、反映させている。	求められる技術力や人材像など業界からの要望を取り入れた授業内容を実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	明確になっている。	教務部において協議し、学校長が承認している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
カリキュラムを定期的に見直しているか	定期的に見直している。	時代ニーズ、学校の目標などとあっているかどうかなど毎年検討している。見直しがある場合は、職員会議で協議決定しより効果的なカリキュラム編成となるようにしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	適正である。	学科、学年別の科目内容は専門学科、専門実習ともに国土交通省の規定により設定している。時間数においては、より多く設定している。また、業界ニーズに即した一般教養も設定している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	シラバス（教案）ともに作成されている。教案内に指導内容や方法などが記載されている。	各回の授業内容や具体的な指示が明記された教案もシラバスと併用して作成し授業で使用している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていくとともに、新しい教材に適宜対応できるようなシラバス（教案）にする。
各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	作成されている。	科目ごとにシラバスを作成している。	

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生による授業評価を実施しているか	年に3回、学生による授業点検アンケートを実施している。	授業点検アンケートを実施している。結果は職員会議で報告・検討している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	体制がある。	教員研修のなかに、模擬授業を実施する項目がある。そこで授業方法についての評価を行っている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格などを備えた教員を確保しているか	教員確保をしている。	学科授業にあたっては、国土交通省の規定に沿った資格保持および経験者を教員として確保している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。

教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	業界レベルに十分対応している。	専門分野の教員は全員、本校の学科内容に該当する業界の専門分野での最高峰の資格を有している。実務経験の年数も、国土交通省の規定に沿った内容となっている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	把握・評価している。	学生が実施する授業アンケートにおいて授業評価をしている。専門性については、把握しているが、これにとどまらず専門性を広げるための自己研鑽も奨励。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
教員の専門性を向上させる研修を行っているか	研修を行っている。	専門性を向上させるための外部研修会などに積極的に参加。都度、伝達研修も実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	把握、評価している。	学生が実施する授業アンケートを参考にしながら適正を評価し、職員会議で指導方法など協議検討している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	研修内容を年間で決定し、実行している。	職員研修によって、授業内容や、教員として必要な資質を高めるようつとめている。教授力に関しての外部研修会などにも参加。都度、伝達研修も実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	教員間で協業している。	各科目はシラバスと教案に沿って授業を実施。そのため、改善点などが発生した場合は、該当全教員で検討、改訂し実施している。また、全教職員が協業に努めている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
非常勤講師間で適切に協業しているか	本校は、非常勤講師をおいていない。		
非常勤講師の採用基準は明確か	本校は、非常勤講師をおいていない。		

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	明確になっている。	コースごとに、成績評価基準、単位数を決定し、それらに準じて実施している。成績評価基準などについては、学生・保護者にも入学時に伝えている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	他の教育機関との単位互換はしていない。		

3-17 資格取得の指導体制があるか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	明確に定められている。	目標とする取得資格に関しては、全て授業カリキュラムに取り入れている。このカリキュラムに関しては、学生・保護者にも入学時に伝えている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	資格取得のための教育内容になっている。	資格取得のための履修時間数を示す授業時間数表やシラバスに沿って、テキストなどを使い授業を進めている。授業内小テストで不合格の場合など補習を実施。 また、受験会場もほとんどの資格が本校で可能とするなど受験環境にも配慮している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

基準 4 教育成果

4-18 就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	図られている。	本校創立以来、卒業生に対する就職率は100%である。 求人数などに関するデータを随時把握し、職員会で就職活動に関して常に協議検討している。 教員と就職担当者が共に求人獲得のため動いている。 就職活動に関する授業、面接練習なども実施している。 校内企業ガイダンスを毎年、卒業前年の夏休み前に開催しスムーズな就職活動へつなげている。	特に課題は無いが、自動車業界の動向に左右されるため、求人の獲得数が重要なポイントとなってくると思われる。これらをふまえ、今後も全教職員一丸となって就職活動支援に取り組んでいく。
就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	把握している。	年度ごとに就職先のデータを作成している。また、就職活動に関する企業訪問や受験先などのデータも作成し学校全体で共有把握している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
資格取得率の向上が図られているか	図られている。	検定未取得者には補習などを行い、資格が取得できるまで何度も挑戦させている。取得率の低い科目については、授業内容の見直しも随時行うようにしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	明確に把握している。	取得に関するデータは常に職員会議で報告され、協議・検討している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
退学率の低減が図られているか	図られている。	退学希望者の理由割合で高い数値を占めるのが学納金支払いの件であるため、学校と銀行が提携しているローン紹介などを行い、学校生活が続けられるよう対策をとっている。平成 22 年度より分納制度も導入（条件あり）。	課題は特に無いが、現状維持も含め、退学者がゼロに近くなるよう学生から早期に相談を受け付けるなど今後も努力を続けていく。
入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	把握している。	入学願書、退学届けの保管・管理。	課題は特に無。

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	把握している。	就職担当教員が各企業訪問を実施し、卒業生の勤務状況などを把握している。	社会的活躍については、まだ卒業生が 3 期分しかいないため、今後引き続いて活躍状況の把握に努める。
卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	評価された	就職先で実施された新人技能コンテストにおいて卒業生が上位入賞を果たした実績がある。	課題は特に無いが、今後、より多くの卒業生の技術が評価されるよう学校として力を注いでいく。
在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか			
在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか			

基準5 学生支援

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	有効に機能している。	卒業生全員が、正社員として就職しているため有効に機能していると判断できる。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
就職に関する説明会を実施しているか	実施している。	校内企業ガイダンスを実施し、各企業の人事担当者などにより直接説明を受けている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
就職に関する学生個別相談を実施しているか	実施している。	1年時に、学生全員を対象とした各担任との面談を実施している。また、5月、1月には保護者面談も実施。 その後は、必要に応じて専任教員が個別相談を実施している。	大半の学生が自主的に就職活動を行っているが、就職活動に消極的な学生に対しては今まで以上に声かけを行い、詳細に支援していく。
就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	実施している。	授業カリキュラムで就職活動の時間を設け、履歴書作成などを行っている。 必要に応じて専任教員が個別に指導している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	有効に機能している。	特に学生相談という枠を設けず、いつでも担任に相談できる体制をとっている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学生相談室を開設しているか	特にしていない。	特に学生相談という枠を設けず、いつでも担任に相談できる体制をとっているため、特に設けていない。	今のところ学生相談室は必要ないため設ける予定がありません。
学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	相談に応じるカウンセラーがいる。	2級キャリアコンサルタント技能士(国家資格)やキャリアサポーター(専修学校教育振興会認定)を配置	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	留学生はいない。		

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	整備、機能している。	本校と提携する銀行での利子補給制度をはじめ、奨学金制度や特待生制度（学費一部免除制度）がある。学生へは入学時に関連資料を配布。説明会を実施している。 また、入学時のみならず進級時にも利用できる特待生制度を導入している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	有効に機能している。	時期に応じて奨学金制度の告知、説明会を実施している。利用者あり。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	授業料の一部免除制度あり。分納制度は、平成22年度入学生より実施（ただし規定あり）	特待奨学生は授業料金（一部）免除 日本学生支援機構予約進学者に対しての分納制度を導入	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	支援体制がある。	定期健康診断の実施。保健室の設置。 玄関、各教室出入口に消毒液常備。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	特に設けていないが、総務部において学生健康診断の管理を行っている。	学校事務局を窓口にし、学生の健康上必要であれば保護者に連絡するなどしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学生からの健康相談等に専門に当たる医師・看護師等がいるか	専門医はいないが、車で数分のところに総合病院があるため、必要であれば直ちに搬送するよう体制をつくっている。	学校事務局を窓口にし、左記の対応をしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
スポーツクラブ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	いずれも有効に機能している。	週1回クラブ活動を実施。各クラブとも顧問を配置し毎年専門学校の大会に参加している（PTAで支援）。ボランティア活動は、献血や学校周辺の清掃活動を実施。年間スケジュールを組み学校全体で取り組んでいる。特に献血は、松江ライオンズクラブと連携して実施。課外活動としては、島根陸運局より専門講師による課外講座を毎年実施していただいている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	行われている。	学生寮がある。寮での生活方法などを伝え、全員で食事をとり交流を深める「寮生の集い」を実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。

5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
保護者と適切に連携しているか	連携している。	PTA組織があり、年1回総会を実施。毎年5月・1月には保護者面談も実施している。また、就職や学校生活に関してなど、必要に応じて適切に連絡をとりあうようにしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	同窓会が組織化しているが、活動はしていない。	3期卒業生しかいないため、まだ同窓会としての活動は実施していない。	卒業生数を考慮して、同窓会を開催する。
卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	特に体制はとっていないが、卒業生の来校時などには、教員が対応していることから、フォローアップは出来ている。	仕事に関するものや資格取得などの相談で来校する学生に対して、教員が時間を設け対応している	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。

基準 6 教育環境

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	本校での教育上必要であると思われる施設・設備を整備している。	資格取得など学習に必要な実習教材を確保している。また、設備や機器に関しては、最新の技術が学べるよう他の同分野の専門学校に比べて新しいものを導入している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	整備されている。	専門業者によるメンテナンス、セキュリティ管理を行っている。 施設・設備に破損などがあった場合は、補修もしくは再購入などで対応。また、点検必要な施設に関しては定期的に点検を行っている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	更新されている。	カリキュラムに沿って必要な設備を購入するなど、計画的に更新している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	インターンシップを導入している。外部企業と十分な連携をとりながら実施している。 学外実習としては、研修旅行を年に1回実施している。サーキット見学、東京モーターショー見学などで、関係機関と連携しながら内容を検討。充実した研修内容となっている。	インターンシップは4年生で実施。あくまでも教育の一環であるため、先方企業と十分に連絡をとり、より充実した内容となるよう協議し実施している。 学外実習（研修）に関しては、学習の意欲向上や自動車の最新技術を知るうえで役立つ内容となっている。参加した学生は全員、研修で得た情報についてのレポートを作成し学校に提出している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果をj確認しているか	実績と教育効果を確認している。	インターンシップに関しての、実習記録やレポート作成により、十分な効果があることを確認している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	有効に機能している。	災害時における行動マニュアルを作成し学生、教職員に伝えている。 消防に関する計画や災害時における具体的な行動マニュアルなどを整備している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。
災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	伝えられている。	機器の取扱については十分に注意を払うよう指導している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。
実習時等の事故防止の体制は十分か	十分とっている。	機器の取扱や作業方法など、事故が起こらないよう細心の注意を払っている。また、実習前に安全に関しての注意事項を斉唱している。	現状維持も含め、今後、事故が起こらないよう努力を続けていく。
万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	十分なものとなっている。	施設・設備に関する保険。学生も全員傷害保険に入っている。	
防災訓練を実施しているか	実施している。	全教職員・学生参加で総合（通報・避難・消火）訓練を消防署立会いの下で実施。	

基準 7 学生の募集と受け入れ

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生募集活動は、適正に行われているか	適正に行われている。	誇大表現は避け、教育内容紹介などに関しては真実性と明瞭性に配慮したものとなっている。	本校の魅力はもとより、自動車整備士の職業魅力も伝えていけるよう今後も努力を続けていく。
学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	ほぼ志望者・保護者等の立場に立ったものとなっているが、要改善点もある。	学校側が伝えたい事項、求める側が知りたい事項の伝え方として、表現方法を再考すべき項目が見受けられる。	求める側のニーズに快く情報が届くような学校案内を作成していくよう、表現内容と方法について検討していく。
志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	体制がある。	フリーダイヤル設置、メールでの問合せなど整備。相談窓口では専任職員が対応に応じている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。
募集定員を満たす募集活動となっているか	ほぼなっていると思われるが、要改善点もある。	本校の認知度がまだ低い地域もあるため、より細やかな募集活動が必要である。	本校の認知度をあげるための募集活動を再検討し展開していく。

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	ほぼ伝えられているが、まだ認知度は高められると思われる。	就職実績に関して、就職率や就職先データなどを学校パンフレットとともに配布している。資格取得に関しても同様。卒業生からのコメント映像の作成と公開している。	本校の就職、資格取得などのデータに加え、卒業生の活躍等、教育成果については今後、今以上に広く、また正確に伝わるよう検討が必要。
卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	持っていない。	卒業生が3期しかいないため、活躍等、教育成果が学生募集に貢献したかどうか認識するには、もう少しばらく期間が必要。	引き続き、卒業生の今後の活躍状況を把握していく。

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	行われている。	入学選考方法の基準を示し、募集要項に記載している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	正確に把握している。	毎年、入試に関するデータを作成し、学生募集の際の資料として使用している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	妥当なものとなっている。	教育内容や関連経費、保護者・学生の経済的状況などを考慮した妥当なものとしている。全国同分野の専門学校と比較してみても、通算額は低く設定している。また、施設が新設であることや、1級まで養成できる学習設備環境、同級指導員が多数在籍している点からみても、学納金は妥当なものといえる。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	正確に把握している。	学納金に関する情報は、毎年正確に把握・記録している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

基準 8 財務

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ安定しているといえる。	現在の時点では安定しているといえる。ただ、本校に限らず今後の自動車業界における経済状況の変化や少子化による影響も出てくる時期があると思われる。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	把握している	財務については理事会において報告・承認を得ている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	妥当なものとなっている。	予算、補正予算をたて、計画に基づいて運営を行っている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
予算は計画に従って妥当に執行されているか	妥当に執行されている。	監査会、理事会において報告、承認を得ている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
財務について会計監査が適正におこなわれているか	適正におこなわれている。	監査会の実施。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	妥当である。	年間スケジュールを立てて実行している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	公開体制整備、公開形式については検討中。		
私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか			

基準 9 法令等の遵守

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	適正な運営がなされている。	県・国に関係書類を提出し運営許可を得ている。 また、法令や設置基準に対しては、設置基準者が把握し遵守している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	実施している。	法令遵守については、学生は授業内で学習。教職員に対しては法令や基準の変更などが発生する都度伝達し実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	対策がとられている。	個人情報の記載されたファイルなどは、指定された部屋で管理している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。
個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	行っている。	教職員の個人情報に関する研修会への参加に加え、教職員は個人情報保護についての意識をもち業務にあたっている。学生に対してはビジネス教育の授業で実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによい状態となるよう今後も努力を続けていく。

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	定期的実施。改善に努めている。	職員会議にはかり、全教職員が自己点検・自己評価に参加。問題点の改善に努めている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	確立している。	自己点検・自己評価は、学校運営状況および学校運営向上のための取り組みなどを、より多くの人に理解してもらうことを目的としている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	伝わっている。	HPで公開することにより、その意図は学内外問わず多くの関係者に伝わっていると推測される。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
自己点検・自己評価結果は公開しているか	している。	HPにて公開。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	確立されている。	自己点検・自己評価の公開は、学校運営状況および学校運営向上のための取り組みなどを、より多くの人に理解してもらうことを目的としている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。
自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	伝わっている。	HPで公開することにより、その意図は学内外問わず多くの関係者に伝わっていると推測される。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらによりよい状態となるよう今後も努力を続けていく。

基準 10 社会貢献

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	図っている。	教育機関や企業・団体などと連携をとりながら学生の資格取得や技術習得の機会を設けている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。
学校の資源を活用し、生涯学習事業や付帯教育事業を行っているか	行っていない。		
学校の施設・設備を開放するなど地域社会と連携しているか	していない。		
諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	していない。		
重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	行っている。	重要な社会問題が発生した場合、各担任がホームルームや授業内で取り上げるなどしている。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。
学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	取り組んでいる。	自動車の新車買い控えや環境に配慮された自動車開発が進むなど自動車業界の動向は、社会問題との関係が深い。現在の社会状況からみて今後ますます、より高度な技術を持つ自動車整備士の必要性が出てくると推測される。本校では、高い技術力を持つ整備士を育成するよう学校全体で取り組んでいることから、社会問題にも具体的に取り組んでいると評価できる。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	奨励、支援、把握している。	学校単位での献血運動、清掃活動などを推進している。献血運動は、松江ライオンズクラブと連携し実施している。	課題は特に無いが、現状維持も含め、さらにより状態となるよう今後も努力を続けていく。
学生のボランティア活動の状況を把握しているか		特に清掃活動に関しては、学校周辺を中心に実施。年間スケジュールを立て、全学生が参加している。	